

学生役の ES 事例

【自己 PR】

目標を達成するためにどんな労力も惜しみません。高校時代バドミントン部で、肩の故障によって競技をあきらめざるを得なかった際に、利き手を左手に変えて一から練習し、引退試合に出場することができました。困難な時も、できるかできないかを悩むのではなく、「どうすればできるのか」だけを考えます。今の私にあるのは目標達成に向けて言い訳をせずに突き進んでいく根性です。社会人になったら、上司や先輩からのアドバイスを愚直に吸収して業務に取り組み、1日でも早く貴社の売上に貢献できる人材になりたいです。

【学チカ】 学生時代に力を入れたこと

大学1年生のときから、3年間続けている百貨店でのパン屋のアルバイトです。アルバイトを始めて3ヶ月経った頃、「混み合う時間帯に効率的にお客様に購入して頂けることが大切」と考え、店長にレジの配置換えについて提案しました。店長からは「大切なのは効率だけじゃない、目先の利益よりも長期的にお客様にファンになってもらうことが大事」と教えてもらい、店長と話し合った結果、レジの配置換えは行いませんでした。私は、もともと自分の考えを伝えることが苦手でしたが、今回勇気を持って伝えてよかったです。考えを言わないことは楽ですが、伝えることで何かしらの学びがあると思います。最近は、臆せずに考えを伝えられるようになってきましたが、伝えるタイミングや伝え方も大切であると感じています。社会人になったら、より適切に意見を発信できるよう、日々の業務を通じて試行錯誤していきたいです。

【志望動機】

縁の下の力持ちとして活躍したいと考えており、貴社を志望します。大学時代に、体育会系野球部のマネージャーを務めた経験を通して、他者の気持ちを汲んだ行動をとることの重要性を感じるとともに、人をサポートする役割に魅力を感じました。さまざまな企業があるなかでも、貴社の〇〇部の□□様と△△様に、OB・OG訪問をさせていただき、生き生きと働かれている様子を感じ、私もぜひ貴社で働きたいと強く感じました。